

2025.12.18

令和7年度 兵庫県立明石公園桜守活動報告

藤原春善(1093)

- 1, 活動日時：2025年12月18日 10時～15時 晴
- 2, 活動場所：兵庫県立明石公園
- 3, 活動人員：
(公財) 兵庫県園芸・公園協会 (1名)
桜守ボランティア(AM 10名, PM 5名)
兵庫県樹木医会樹木医 (2名)

4, 活動内容

(1) 桜の枯れ枝・支障枝剪定

ソメイヨシノの枯れ枝・支障枝の剪定処理を行った。なお、切り口直径 2cm 以上については断面に殺菌剤（トップジンペースト等）を塗布する。



枯れ枝・支障枝を高枝鋸等で切除

切除した小枝はエコスタックへ



ヒラタケが着生し枯死した太枝

コスカシバの侵入痕跡ゼリー状樹液・虫糞

(2) 補植した桜を被圧する常緑広葉樹の剪定

若いソメイヨシノが植栽されているが、既存の常緑広葉樹に接した日陰に植えられているため、日陰を作っている常緑広葉樹（クスノキ、アラカシ、

モチノキ等) を透かし剪定処理し、日当たりの改善を図った。

今後、補植する場合は、桜は陽樹であるため、日当たりが良いところに植栽することが大切である。特に南側に常緑樹広葉樹等が位置する場合は、5m程度の間隔をとることが望ましい。

(3) 樹勢が低下している桜が多いため今後の維持管理計画をしっかりと立てる必要がある。

① 植栽地の土層が浅いため、50cm程度の盛り土を行うと健全な桜の生育が期待できる。有効土壌深1m、土壌PH6~7及び山中式土壌硬度計22mm以下になるよう土壌条件を整える。土壌改良(割竹埋設法等)の推進をする。

② 根茎が発達する範囲 5m×6m=30 m²程度を確保する。

③ 適正な剪定(透かし剪定)を行う。

(4) 主幹新旧切り替え剪定(強剪定)の検討

生育低下しているソメイヨシノの主幹新旧切り替え剪定(頂芽を切って側芽を活かし更新を図る)を計画している。

切り替え剪定の留意点は以下の通りである。

① 剪定時期に配慮し、雨天時は作業をしない。

② 風通しや日当たりが良い場所の桜を選定し、根茎状態を把握する。

③ 前処理として、枯れ枝、支障枝、立ち枝、交差枝、下り枝、病虫害枝はプランチカラーを残して剪定し、樹形を整える。

④ 主幹の側芽の上0.5~10mmで切除し、できるだけ切口を小さくし、切口に殺菌剤(トップジン等)を塗布する。

